

平成31年2月6日

第10回福島大学環境放射能研究所研究活動懇談会 【福島県の放射能の今ー淡水魚から考えよう】 開催のお知らせ

平成28年度より本研究所では、研究活動にご協力をいただいている地域住民の方や行政、研究機関の方々に向け、研究活動懇談会を開催しています。今回は、蔵前工業会（東京工業大学同窓会）と共同で、福島県の淡水魚や内水面漁業をテーマに、第10回目となる懇談会を郡山市で開催します。

本研究所からだけでなく、福島の水産業に関わる専門家の方々をむかえ、淡水魚の放射能汚染の現状と内水面水産業の重要性について、一般の方に向けてわかりやすく報告し、参加者の疑問に答えます。

●日 時：平成31年3月2日（土） 13：30～16：30

●場 所：郡山・市民交流プラザ 第一会議室
（福島県郡山市駅前二丁目11-1 ビッグアイ7階）

●内 容：

1) くらべてわかる淡水魚の放射能汚染

福島大学環境放射能研究所 和田敏裕 准教授

2) 分子生物学から見た淡水魚の塩類代謝のメカニズムと放射能

東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター 加藤明 准教授

3) 原発事故後の内水面漁業の課題

福島県内水面水産試験場 藤田恒雄 場長

4) 鯉に恋する郡山プロジェクト

郡山市農林部園芸畜産振興課 箭内勝則 主幹兼課長補佐

5) 大震災と放射能！川の中から見てみたら！！

阿武隈川漁業協同組合阿武隈川塾 堀江清志 塾長
（発表順）

●申 込：参加無料です。申し込みは環境放射能研究所のホームページをご覧ください。

（お問い合わせ先）

福島大学環境放射能研究所 事務室

電話：024-504-2114 FAX：024-503-2921

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

福島県の放射能の今

淡水魚から考えよう

2019

3月2日 土

13:30 ~ 16:30

受付 13時~

場所

ビッグアイ7階

(郡山・市民交流プラザ)

第一会議室

参加
無料

原発事故から、約8年が経過しました。
淡水魚の放射能汚染の現状と内水面水産業の
重要性について、専門家がやさしく解説します。

プログラム

- 1) くらべてわかる淡水魚の放射能汚染
福島大学環境放射能研究所 和田敏裕 准教授
- 2) 分子生物学から見た淡水魚の塩類代謝のメカニズムと放射能
東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター 加藤明 准教授
- 3) 原発事故後の内水面漁業の課題
福島県内水面水産試験場 藤田恒雄 場長
- 4) 鯉に恋する郡山プロジェクト
郡山市農林部園芸畜産振興課 箭内勝則 主幹兼課長補佐
- 5) 大震災と放射能!川の中から見てみたら!!
阿武隈川漁業協同組合阿武隈川塾 堀江清志 塾長

福島県の放射能の今

淡水魚から考えよう

2019 3月2日 土
13:30～16:30
場所 ビッグアイ7階
(郡山・市民交流プラザ)
第一会議室

プログラム 13:30 開会のご挨拶

13:40 くらべてわかる淡水魚の放射能汚染

14:05 分子生物学から見た淡水魚の塩類代謝のメカニズムと放射能

14:30 原発事故後の内水面漁業の課題

14:55 休憩

15:10 鯉に恋する郡山プロジェクト

15:35 大震災と放射能!川の中から見てみたら!!

15:50 意見交流

登壇者プロフィール



和田敏裕 わだとしひろ

福島大学環境放射能研究所准教授。専門は、魚類生態学、水圏放射生態学。震災前は、主にカレイ類を中心とした海産魚類の生態特性の解明、および栽培漁業の技術開発に関する調査に従事。

震災後、福島県の実産魚ならびに淡水魚の放射性物質汚染に関する調査に従事し、研究成果を国内外に報告している。



加藤明 かとうあきら

東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター准教授。専門は、分子細胞生物学、比較進化生理学、魚類生理学。

腎臓、エラ、腸の細胞に存在するイオン輸送体の機能を調べることで、魚類の塩類代謝や淡水・海水順応のメカニズムを理解しようと試みている。



藤田恒雄 ふじたつねお

福島県内水面水産試験場 場長

東北大学農学部水産学科卒。震災後は、主に海域の放射性物質汚染にかかる調査に従事。趣味は、へら鮒釣り、アユ釣り等。

年間釣り行100日以上。日本へら鮒釣り研究会いわき支部長。釣り雑誌にエッセー連載中。



箭内勝則 やないかつのり

郡山市農林部園芸畜産振興課 主幹兼課長補佐

平成8年4月郡山市役所入庁。以降、農業技術職員として農林部に勤務。平成23年5月から営農推進課(現園芸畜産振興課)に勤務し、農地除染等を担当。平成25年4月から6次化推進係長、平成27年4月から課長補佐兼係長を歴任し、平成29年4月から現職。東日本大震災からの復興、風評払しょく、6次産業化、地方創生等、農業の振興と食を通じた地域活性化対策に従事している。



堀江清志 ほりえきよし

阿武隈川漁業協同組合事務局長

県内阿武隈川の本支流のいわな・やまめ・あゆ・こい等の漁業権魚種8種類の稚魚の放流と組合員及び遊漁者の漁業・遊漁の仕事に従事。

震災原発事故後現在まで漁業・遊漁が自粛状態にある。

震災前は、親子環境教室「阿武隈川塾」を塾長として開催していた。

蔵前工業会(東京工業大学同窓会)

蔵前工業会は東京工業大学の全学科・全専攻にわたる唯一の同窓会として、科学技術の振興や教育・啓蒙等の事業を行っています。東京工業大学は創立から130年を超える歴史をもつ国立の理工系総合大学で、多岐にわたる分野で研究を行っており、多くの分野で卒業生が活躍しています。福島大学共生システム理工学類にも数学や化学・生化学等の分野に5名の同会会員が在籍しております。

福島大学環境放射能研究所第10回研究活動懇談会は蔵前工業会からの補助金を活用し、蔵前工業会福島県支部と環境放射能研究所の共催により開催致します。

■福島大学環境放射能研究所研究活動懇談会について

福島大学環境放射能研究所(IER)では、平成25年7月の設立以来、環境放射能分野での最先端研究を実施する唯一の学術研究機関としての役割と放射能汚染問題を抱える福島県に存在する研究機関としての役割を担っています。とくに福島県の避難指示区域などをフィールドとして、各地方自治体の職員の方々や、地域住民のみならずのご理解・ご協力のもと研究を実施しています。IERでは、その研究成果について、地域の方々へフィードバックし、参加者からの率直な声を聞く場として、研究活動懇談会を実施しています。

●お問合せ・申込み●

福島大学環境放射能研究所

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/>

Tel 024-504-2114 Fax 024-503-2921

ier@adb.fukushima-u.ac.jp